

## 平成 29 年度第 1 回向日市いじめ防止対策推進委員会

- 1 日 時 平成 29 年 8 月 25 日（金）午後 1 時～同 1 時 20 分
- 2 場 所 乙訓総合庁舎 第 2 会議室
- 3 出席者 委員長 本間 友巳 京都教育大学教授  
副委員長 平 正博 弁護士  
委員 尼子 薫 小児科医  
伊坂 はるみ 臨床心理士  
福井 景子 臨床心理士  
学校教育課 野田 昌之 担当課長兼総括指導主事  
(事務局) 藤野 剛志 主幹

傍聴人 0 人

### 4 内 容

- (1) あいさつ
- (2) 調査の概要報告
- (3) 質疑等

### 5 概要

- (1) 本間委員長あいさつ
- (2) 平成 28 年度「調査の概要」報告  
(事務局から)
  - ・認知件数 小学校 1 回目 770 件、2 回目 664 件、計 1434 件  
中学校 1 回目 72 件、2 回目 60 件、計 132 件 合計 1566 件
  - ・解消件数 小学校 1 回目 757 件、2 回目 657 件、計 1414 件  
中学校 1 回目 58 件、2 回目 49 件、計 107 件 合計 1521 件
  - ・一定解消したが継続指導中  
小学校 1 回目 13 件、2 回目 7 件、計 20 件  
中学校 1 回目 14 件、2 回目 11 件、計 25 件 合計 45 件
  - ・平成 27 年度と比較して、小中ともに減少している。
  - ・一定解消したが継続指導中については、昨年度より増加しているが、アンケートをもとに個別の面談を行い、担任だけでなく、学年や学校全体で関わった事例になる。
- (3) 質疑等
  - ・いじめの態様で「金品をたかられる」内容で、14 歳以上では、触法行為にあたるので、必要な時は警察と連携して対応すること。
  - ・継続指導中の児童生徒については、解消のリセットをせずに気を付けてみていくようにすること。